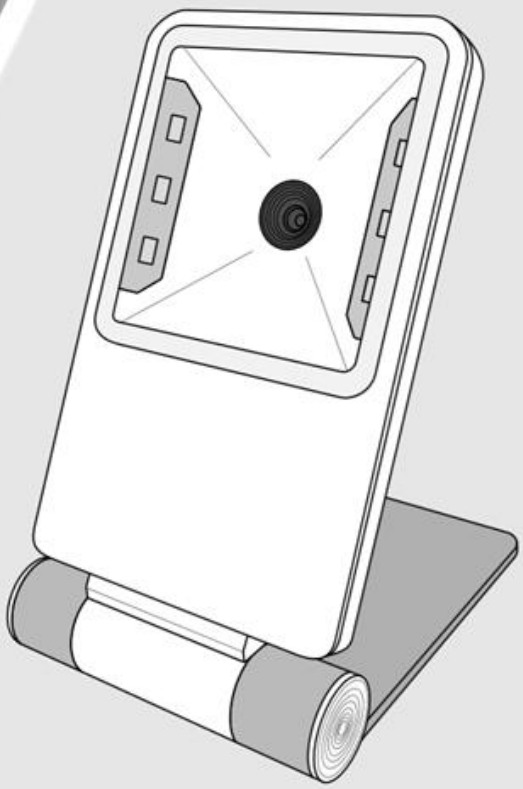
USB（タイプ A）：ST-860U
USB（タイプ C）：ST-860UC
RS232C　　：ST-860R

定置式2Dスキャナー

ST-860

詳細設定マニュアル



Ver 1.3

目次

・改訂履歴 4
・ST-860R ピンアサイン 4
1.基本設定 5
1-1　初期化 5
1-2 ファームウェアバージョン 5
1-3 インターフェース 5
1-4 キーボード言語 6
1-5 スキャンモード 6
1-6 文字間遅延 7
1-7 同一コード読取り遅延 8
1-8 大文字と小文字の変換 10
1-9 照明 10
1-10 ビープ音 11
1-11 ビープ音の長さ 11
1-12 ビープ音の周波数 12
1-13 改行コード 14
1-14 ボーレート 15
1-15 データビット 16
1-16 ストップビット 16
1-17 パリティ 17
1-18 エンコード 17
2.コード設定 18
2-1 コードの読取り 18
2-2 UPC-A 19
2-3 UPC-E 21
2-4 EAN-13 23
2-5 EAN-8 25
2-6 UPC/EAN アドオンコード 27
2-7 Code39 28
2-8 Code128 / GS1-128 30
2-9 Interleaved 2 of 5（ITF） 31
2-10 NW-7 33
2-11 GS1 Databar 35
2-12 QR Code 37
2-13 Micro QR Code 42

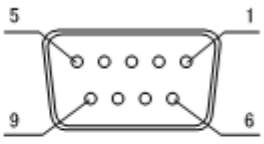
2-14 Data Matrix..... 43
2-15 PDF417..... 44
2-16 Micro PDF417..... 45
3.フォーマット設定..... 46
3-1 コード ID 46
3-2 GS（0x1d）キャラクター変換 47
3-3 先頭/末尾に文字を付加する..... 48
3-3-1　先頭に文字を付加するフォーマット 48
3-3-2　末尾に文字を付加するフォーマット 49
3-3-3　先頭と末尾に文字を付加するフォーマット..... 50
3-3-4　コード表 51
3-3-5　ファンクションキーテーブル..... 52
3-4 先頭から指定桁数を削除する（1～9 桁まで） 53
3-5 末尾から指定桁数を削除する（1～9 桁まで） 55
4.設定コマンド 57
4-1 コマンド送信手順 58
4-2 返送ステータス 58
4-3 設定コマンド一覧 59
4-3-1 基本設定..... 59
4-3-2 コード設定..... 61
4-3-3 フォーマット設定 66
5.トリガーモード（読取開始/読取終了）コマンド..... 69
・Full ASCII テーブル（制御コード）..... 70
・Full ASCII テーブル（記号） 71
・Full ASCII テーブル（アルファベット　大文字）..... 72
・Full ASCII テーブル（アルファベット　小文字）..... 73
・Full ASCII テーブル（数字） 74
・付加文字一覧..... 75

・改訂履歴

Ver	発行日	改定履歴
1.0	2025/06/17	初版発行 Firmware: VM.8.20250527
1.1	2025/07/14	RS232C 追加 Firmware: VM.8.20250710 ・ST-860R ピンアサイン 1-3 インターフェース 1-14 ボーレート 1-15 データビット 1-16 ストップビット 1-17 パリティ 1-18 エンコード 4-3 設定コマンド一覧 4-3-1 基本設定　以下コマンド追記 ・インターフェース：USB-COM、RS232C ・ボーレート ・データビット ・ストップビット ・パリティ
1.2	2025/07/29	USB（タイプ C）ST-860UC　追加 全角記号出力一部修正「USB-HID」「メモ帳に出力」 Firmware: VM.8.20250725
1.3	2026/06/05	3-3-4 コード表 合成シンボル（CC-A/CC-B）追記

・ST-860R ピンアサイン

DB9 Female	
Pin No.	**Function**
2	TXD
3	RXD
5	GND
9	+5V（VCC_2）



インチネジ(#4-40)

※ST-860R は、USB ポートからの+5V 給電で動作します。
パワーCOM（RS232C 9 ピンからの給電）にも対応しておりますが、USB とパワーCOM からの二重給電は、故障の原因となるため絶対に行わないでください。

1.基本設定

1-1 初期化

※初期化を行っても、インターフェースの設定は変更されません。
※各設定項目のグレー網かけが初期値です。

FFFFFE

1-2 ファームウェアバージョン

※USB-HID　メモ帳等のテキストエディターを開き下記バーコードをスキャンします。
※USB-COM　Tera Term 等のターミナルエミュレーターを開き下記バーコードをスキャンします。

FFFF68

1-3 インターフェース

ST-860U/ST-860UC : USB-HID

FFBFFE

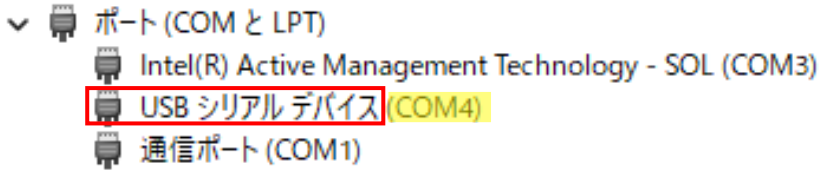
※USB-HID
Windows 限定です。

USB-COM

FFBFFD

ST-860R : RS232C

FFBFFF



※USB-COM
Windows 限定です。
Windows10 以上で使用できます。USB-COM ドライバーは不要です。
デバイスマネージャーで COM 番号をご確認ください。
USB の差込口を変更すると、COM 番号（仮想シリアルポートの番号）が変更されることがあります。
これは Windows が USB ポートごとに個別のデバイスとして認識し、それぞれに固有の COM 番号を割り当てるためです。

1-4 キーボード言語

※〖1-3 インターフェース〗で「USB-HID」に設定すると、有効になる機能です。

アメリカ

A69E66

日本

A69E610

1-5 スキャンモード

※物体検知モード　LED が点灯し、約 3 秒間センサーに反応がなければ、LED が消灯します。
照明でもセンサーが反応し、LED が点灯します。

連続モード

7E9AA0

物体検知モード

7E9AA8

1-6 文字間遅延

※データが正しく出力されない（文字抜け、桁落ち等が発生）場合は、「0ms」以外を設定してください。
※〖1-3 インターフェース〗で「USB-HID」に設定すると、有効になる機能です。

0 ms

9B7E60

10 ms

9B7E610

20 ms

9B7E620

30 ms

9B7E630

40 ms

9B7E640

50 ms

9B7E650

1-7 同一コード読取り遅延

50ms

7EFD61

100m s

7EFD62

150ms

7EFD63

200ms

7EFD64

250ms

7EFD65

300ms

7EFD66

400 ms

7EFD68

500 ms

7EFD610

800ms

7EFD616

900ms

7EFD618

1000 ms

7EFD620

1500 ms

7EFD630

2000ms

7EFD640

1-8 大文字と小文字の変換

※キーボードの Caps Lock を OFF にした状態の設定です。
※『1-3 インターフェース』で「USB-HID」に設定すると、有効になる機能です。

全て大文字にする

A68862

全て小文字にする

A68861

大文字と小文字を逆にする

A68863

変換しない

A68860

1-9 照明

有効

B66781

無効

B66780

1-10 ビープ音

※ビープ音を「無効」に設定しても、起動音は鳴ります。

有効

B667D0

無効

B667D1

1-11 ビープ音の長さ

通常

7EA7A0

短い

7EA7A1

1-12 ビープ音の周波数

※ビープ音の周波数を「消音」に設定しても、起動音は鳴ります。

2.7KHz

7EB9B7

1.6KHz

7EB9B6

2.0KHz

7EB9B5

2.4KHz

7EB9B4

3.1KHz

7EB9B3

3.5KHz

7EB9B2

4.2KHz

7EB9B1

消音

7EB9B0

1-13 改行コード

CR（付加する）

CR（付加しない）

LF（付加する）

LF（付加しない）

TAB（付加する）

TAB（付加しない）

1-14 ボーレート

1200

7BEA62

2400

7BEA63

4800

7BEA64

9600

7BEA65

19200

7BEA67

38400

7BEA68

57600

7BEA69

115200

7BEA610

1-15 データビット

7

8

1-16 ストップビット

2

1

1-17 パリティ

なし

7C69B4

偶数

7C69B2

奇数

7C69B0

1-18 エンコード

※スキャナーは QR コードの内容をエンコード変換を行いません。
　読み取ったバイト列をそのままシリアル出力（USB-COM／RS232C）します。

そのままのコードを出力

A6C8A0

2.コード設定

2-1 コードの読取り

※URL データの QR Code の読取りは、〖2-12 QR Code〗で、個別に設定してください。

全コード読取り「有効」

全コード読取り「無効」

1 次元コード読取り「有効」

1 次元コード読取り「無効」

2 次元コード読取り「有効」

2 次元コード読取り「無効」

2-2 UPC-A

UPC-A の読取り

有効

無効

チェックデジット

送信する

送信しない

UPC-A を EAN-13 へ変換

変換しない

変換する

ナンバーシステムキャラクター「NS」
※先頭 1 桁目

送信する

6DB771

送信しない

6DB770

白黒反転
※「有効」: 白黒反転していない UPC-A の読取りも可能です。
※この設定は、UPC-A / UPC-E / EAN-13 / EAN-8 共通設定です。

無効

A87860

有効

A87861

2-3 UPC-E

UPC-E の読取り

有効

668761

無効

668760

チェックデジット

送信する

6DB7C1

送信しない

6DB7C0

UPC-E を UPC-A へ変換

変換しない

6DB7B0

変換する

6DB7B1

ナンバーシステムキャラクター「NS」
※先頭 1 桁目

送信する

6DB791

送信しない

6DB790

白黒反転
※「有効」：白黒反転していない UPC-E の読取りも可能です。
※この設定は、UPC-A / UPC-E / EAN-13 / EAN-8 共通設定です。

無効

A87860

有効

A87861

2-4 EAN-13

EAN-13 の読取り

有効

無効

チェックデジット

送信する

送信しない

白黒反転

※「有効」：白黒反転していない EAN-13 の読取りも可能です。

※この設定は、UPC-A / UPC-E / EAN-13 / EAN-8 共通設定です。

無効

A87860

有効

A87861

2-5 EAN-8

EAN-8 の読取り

有効

無効

チェックデジット

送信する

送信しない

EAN-8 を EAN-13 へ変換

※ゼロ埋めし 13 桁にします。

例：49123456　→　0000049123456

変換しない

6DB780

変換する

6DB781

白黒反転

※「有効」：白黒反転していない EAN-8 の読取りも可能です。

※この設定は、UPC-A / UPC-E / EAN-13 / EAN-8 共通設定です。

無効

A87860

有効

A87861

2-6 UPC/EAN アドオンコード

アドオンコードの出力
※アドオンデータの前には、半角スペースが入ります。
例：4530825001402 68000

2 桁出力しない

6787D0

2 桁出力する

6787D1

5 桁出力しない

6787C0

5 桁出力する

6787C1

アドオンコードがないコードの読取り
※「読取りしない」に設定する場合は、アドオンコードの出力で「○桁出力する」に設定してください。

読取りしない

678791

読取りする

678790

2-7 Code39

Code39 の読取り

※最小読取り桁数（初期値）：1 桁「*」含まない

有効

667771

無効

667770

チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

9F6860

計算する ＋ 送信しない

9F6862

計算する ＋ 送信する

9F6861

スタートコード（*）/ストップコード（*）

送信しない

9F6780

送信する

9F6781

Code39 Full ASCII

無効

6687D0

有効

6687D1

白黒反転

※「有効」：白黒反転していない Code39 の読取りも可能です。

無効

A88880

有効

A88881

2-8 Code128 / GS1-128

Code128 / GS1-128 の読取り

※最小読取り桁数（初期値）：1 桁「チェックデジット」含まない

※チェックデジットがない Code128 / GS1-128 の読取りはできません。

有効

無効

白黒反転

※「有効」：白黒反転していない Code128 / GS1-128 の読取りも可能です。

無効

有効

2-9 Interleaved 2 of 5（ITF）

ITF の読取り
※最小読取り桁数（初期値）：4 桁

有効

6677B1

無効

6677B0

チェックデジット
※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

9EF860

計算する ＋ 送信しない

9EF861

計算する ＋ 送信する

9EF862

白黒反転

※「有効」：白黒反転していない ITF の読取りも可能です。

無効

A888A0

有効

A888A1

最小読取り桁数を 2 桁 にする

B86E62

2-10 NW-7

NW-7 の読取り
※最小読取り桁数（初期値）：4 桁「スタート/ストップコード」含まない

有効

6677A1

無効

6677A0

チェックデジット
※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。
※ チェックデジットの計算方法は、モジュラス 16 です。

計算しない

9EF880

計算する ＋ 送信しない

9EF882

計算する ＋ 送信する

9EF881

スタートコード（ABCD）/ストップコード（ABCD）

送信しない

6DD7D0

送信する

6DD7D1

白黒反転

※「有効」：白黒反転していない NW-7 の読取りも可能です。

無効

A888C0

有効

A888C1

最小読取り桁数を 1 桁 （「スタート/ストップコード」含まない）にする

B7EE61

2-11 GS1 Databar

※白黒反転の読取りは対応しておりません。

標準型/標準二層型/カット型/二層型の読取り
（Omnidirectional / Stacked Omnidirectional / Truncated / Stacked）

無効

66A790

有効

66A791

制限型の読取り
（Limited）

無効

66A7A0

有効

66A7A1

拡張型/拡張多層型の読取り
（Expanded / Expanded Stacked）

無効

66A7B0

有効

66A7B1

合成シンボル
※CC-C は未対応です。
※「有効」に設定する場合は、必要な GS1 Databer と、Micro PDF の読取りも「有効」に設定してください。

無効

A66760

有効

A66761

2-12 QR Code

QR Code の読取り
※最小読取り桁数（初期値）：3 桁

有効

無効

URL データの QR Code の読取り
※QR コードデータの先頭が「https://」で始まる QR コードの読取り設定です。

有効

無効

白黒反転
※「有効」：白黒反転していない QR Code の読取りも可能です。

無効

66C790

有効

66C791

最小読取り桁数を 1 桁 にする
※QR Code / Micro QR Code / Data Matrix / PDF417 / Micro PDF417 に適用されます。

67EE61

QR コードの文字コード
※出力先のアプリケーションと、この設定が異なっている場合は、文字化けします。
※〖1-3 インターフェース〗で「USB-HID」に設定すると、有効になる機能です。
※「～」等、出力されない文字が含まれている場合は、キーボードシミュレーターを経由して出力してください。
　キーボードシミュレーター経由の場合は、〖1-3 インターフェース〗で「USB-COM」に設定してください。

UTF-8（Word に出力）

A67964

キーボードシミュレーター
https://www.fksystem.co.jp/dl
上記よりダウンロードしてください。

S-JIS（メモ帳に出力）

A67965

【サンプル QR コード】

UTF-8 でエンコードした QR コード

半角ｶﾅ

全角カナ

全角かな

全角英数

漢字を含む

【サンプル QR コード】

S-JIS でエンコードした QR コード

半角ｶﾅ

全角カナ

全角かな

全角英数

漢字を含む

文字化けする場合は、Microsoft IME 設定 → 全般 → 互換性 を ON にしてお試しください。

Windows11 のメモ帳を利用した際に文字化け等、正しい QR コードデータが出力されない場合がございます。
以前のバージョンのメモ帳に戻すか、メモ帳以外のテキストエディタでお試しください。

2-13 Micro QR Code

Micro QR コードの読取り
※最小読取り桁数（初期値）：3 桁

有効

66C7B1

無効

66C7B0

白黒反転
※「有効」：白黒反転していない Micro QR Code の読取りも可能です。

無効

66C7C0

有効

66C7C1

最小読取り桁数を 1 桁 にする
※QR Code / Micro QR Code / Data Matrix / PDF417 / Micro PDF417 に適用されます。

67EE61

2-14 Data Matrix

Data Matrix の読取り
※最小読取り桁数（初期値）：3 桁

有効

66B791

無効

66B790

白黒反転
※「有効」：白黒反転していない Data Matrix の読取りも可能です。

無効

66B780

有効

66B883

最小読取り桁数を 1 桁 にする
※QR Code / Micro QR Code / Data Matrix / PDF417 / Micro PDF417 に適用されます。

67EE61

2-15 PDF417

PDF417 の読取り
※最小読取り桁数（初期値）：3 桁

有効

666761

無効

666760

白黒反転
※「有効」：白黒反転していない PDF417 の読取りも可能です。

無効

A8D860

有効

A8D861

最小読取り桁数を 1 桁 にする
※QR Code / Micro QR Code / Data Matrix / PDF417 / Micro PDF417 に適用されます。

67EE61

2-16 Micro PDF417

Micro PDF417 の読取り
※最小読取り桁数（初期値）：3 桁

有効

66A7D1

無効

66A7D0

白黒反転
※「有効」：白黒反転していない PDF417 の読取りも可能です。

無効

B6D880

有効

B6D881

最小読取り桁数を 1 桁 にする
※QR Code / Micro QR Code / Data Matrix / PDF417 / Micro PDF417 に適用されます。

67EE61

3.フォーマット設定

3-1 コード ID

コード ID を先頭に付加

無効

有効

コード種	値	コード種	値
UPC-A	c	QR Code	s
UPC-E	E	Micro QR Code	s
EAN-13	d	Data Matrix	w
EAN-8	D	PDF417	r
Code39	b	Micro PDF417	R
Code128	j		
GS1-128	I		
Interleaved 2 of 5（ITF）	e		
NW-7	a		
GS1 DataBar Omnidirectional	y	合成シンボル	!
GS1 DataBar Limited	{		
GS1 DataBar Expanded	}		

※合成シンボルが付いている GS1 DataBar は「！」が出力されます。

3-2 GS（0x1d）キャラクター変換

※〖1-3 インターフェース〗で「USB-HID」に設定すると、有効になる機能です。

無効

有効

変換キャラクター設定

※「有効」に設定後、いずれかのキャラクターの設定バーコードをスキャンしてください。

<GS>

GS

|

(GS)

3-3 先頭/末尾に文字を付加する

※設定用の QR コードを作成する必要があります。

※作成した QR コードを読み取った後、登録した文字の出力設定を行い、「出力する」または「出力しない」の選択を行ってください。

※以下のフォーマットのうち、設定可能なのは 1 つのみです。
新しく設定すると、以前の設定は上書きされます。
コード種も 1 つのみ登録可能で、複数のコード種登録はできません。
- 〖3-3-1 先頭に文字を付加するフォーマット〗
- 〖3-3-2 末尾に文字を付加するフォーマット〗
- 〖3-3-3 先頭と末尾に付加するフォーマット〗

3-3-1　先頭に文字を付加するフォーマット

※2 バイト文字、3 バイト文字は未対応です。
〖付加文字一覧〗をご確認ください。

設定例：全コードの先頭に「ABCDE」の 5 桁を付加します。

①	固定 1	^3^39999920	
②	コード種	99	〖3-3-4 コード表〗をご確認ください。
③	固定 2	9999	
④	固定 3	C2	
⑤	付加桁数	05	
⑥	付加文字	41 42 43 44 45	16 進で指定します。

①～⑥のデータをつなぎ合わせ、QR コードを作成します。

QR コードデータ：^3^39999920999999C2054142434445

登録した文字の出力設定

出力する

BFF761

出力しない

BFF760

3-3-2　末尾に文字を付加するフォーマット

※2 バイト文字、3 バイト文字は未対応です。
　『付加文字一覧』をご確認ください。

設定例：EAN-13 の末尾に「123456789a」の 10 桁を付加します。

①	固定 1	^3^39999920	
②	コード種	64	『3-3-4 コード表』をご確認ください。
③	固定 2	9999	
④	固定 3	A2	
⑤	固定 4	C2	
⑥	付加桁数	10	
⑦	付加文字	31 32 33 34 35 36 37 38 39 61	16 進で指定します。
⑧	固定 5	A1	

①～⑧のデータをつなぎ合わせ、QR コードを作成します。

QR コードデータ：^3^39999920649999A2C2103132333435363738396 1A1

登録した文字の出力設定

出力する

BFF761

出力しない

BFF760

3-3-3　先頭と末尾に文字を付加するフォーマット

※2 バイト文字、3 バイト文字は未対応です。
　『付加文字一覧』をご確認ください。

設定例：Code39 の先頭に「SP (20h) 1234」5 桁、末尾に「HT（09h）　5678」5 桁を付加します。

①	固定 1	^3^39999920	
②	コード種	62	『3-3-4 コード表』をご確認ください。
③	固定 2	9999	
④	固定 3	C2	
⑤	先頭付加桁数	05	
⑥	先頭付加文字	20 31 32 33 34	16 進で指定します。
⑦	固定 4	A2	
⑧	固定 5	C2	
⑨	末尾付加桁数	05	
⑩	末尾付加文字	09 35 36 37 38	16 進で指定します
⑪	固定 6	A1	

①～⑪のデータをつなぎ合わせ、QR コードを作成します。

QR コードデータ：^3^39999920629999C2052031323334A2C2050935363738A1

登録した文字の出力設定

出力する

BFF761

出力しない

BFF760

3-3-4　コード表

コード種	ID	コード種	ID
全て	99	GS1 DataBar Omnidirectional	79
UPC-A	63	GS1 DataBar Limited	7B
UPC-E	45	GS1 DataBar Expanded	7D
EAN-13	64	QR Code	73
EAN-8	44	Micro QR Code	
Code39	62	Data Matrix	77
Code128	6A	PDF417	72
GS1-128	49	MicroPDF417	52
Interleaved 2 of 5（ITF）	65		
NW-7	61	合成シンボル（CC-A/CC-B）	21

※GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded と、合成シンボル（CC-A,CC-B）を同時に設定することはできません。

例）先に GS1 DataBar Limited に付加文字を設定した後、合成シンボル（CC-A/CC-B）に付加文字を設定すると、先に設定した付加文字は解除されます。
合成シンボル(CC-A/CC-B)を設定し、合成シンボル(CC-A/CC-B)付き、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded の読取りを行うと、設定した文字が付加されますが合成シンボル（CC-A/CC-B）なしの GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded には、文字は付加されません。

3-3-5　ファンクションキーテーブル

※〖1-3 インターフェース〗で「USB-HID」に設定すると、有効になる機能です。
※〖3-3 先頭/末尾に文字を付加する〗で下の表「ファンクションキーテーブル」の 16 進の値を設定すると、機能の動作をします。

設定例：①〖3-3-2 末尾に文字を付加するフォーマット〗で、16 進「08」（Left Arrow）を付加します。

QR コードデータ：^3^39999920999999A2C20108A1

② 登録した文字の出力設定 で「出力する」を選択します。

出力する

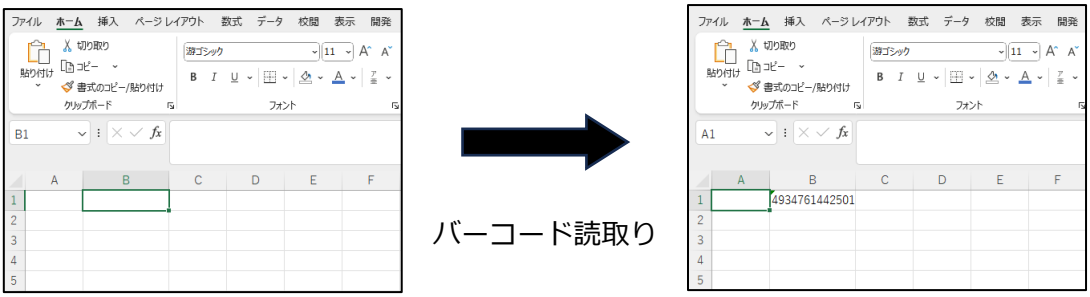
BFF761

出力しない

BFF760

③〖1-13 改行コード〗で、CR（付加しない）LF（付加しない）TAB（付加しない）の設定にします。

①～③設定後、Excel のセル B1 を選択した状態で、バーコードの読取りを行うと、セル B1 にバーコードデータが入力された後、左のセル A1 が選択状態になります。



ファンクションキーテーブル

16 進	Char	機能	16 進	Char	機能	16 進	Char	機能
01	SOH	NP Enter	0F	SI	ESC	1A	SUB	F5
02	STX	Caps Lock	10	DLE	F11	1B	ESC	F6
03	ETX	Right Arrow	11	DC1	Home	1C	FS	F7
04	EOT	Up Arrow	12	DC2	PrtScn	1D	GS	F8
07	BEL	Enter	13	DC3	Delete	1E	RS	F9
08	BS	Left Arrow	14	DC4	Shift+Tab	1F	US	F10
09	HT	Tab	15	NAK	F12	7F	DEL	Delete
0A	LF	Down Arrow	16	SYN	F1			
0C	FF	Backspace	17	ETB	F2			
0D	CR	Enter / Ret	18	CAN	F3			
0E	SO	Insert	19	EM	F4			

3-4 先頭から指定桁数を削除する（1～9 桁まで）

※2 バイト文字、3 バイト文字は未対応です。

削除を取り消す

B68E60

先頭 1 桁

B68E61

先頭 2 桁

B68E62

先頭 3 桁

B68E63

先頭 4 桁

B68E64

先頭 5 桁

B68E65

先頭 6 桁

B68E66

先頭 7 桁

B68E67

先頭 8 桁

B68E68

先頭 9 桁

B68E69

3-5 末尾から指定桁数を削除する（1～9 桁まで）

※2 バイト文字、3 バイト文字は未対応です。

削除を取り消す

B6BE60

末尾 1 桁

B6BE61

末尾 2 桁

B6BE62

末尾 3 桁

B6BE63

末尾 4 桁

B6BE64

末尾 5 桁

B6BE65

末尾 6 桁

B6BE66

末尾 7 桁

B6BE67

末尾 8 桁

B6BE68

末尾 9 桁

B6BE69

4.設定コマンド

※インターフェース USB-COM、RS232C の機能です。
　ST-860U/ST-860UC は、『1-3 インターフェース』で、「USB-COM」の設定にしてからご使用ください。

※フラッシュメモリの書き換え回数制限により、コマンドの実行回数は最大 10 万回までです。
　フラッシュメモリの寿命による動作不良は保証対象外となります。

※返送ステータスが返ってきてから、次のコマンドを送信してください。

※設定をフラッシュメモリへ記憶するため、コマンドを送信して返送ステータスが返ってくるまでは、電源を切断しないでください。
　誤動作の原因になることがあります。

※正しく設定が完了すると、スキャナーから「ピッ ピッ ピッ」と、ビープ音が 3 回鳴ります。
　誤動作の原因になることがありますので、設定完了のビープ音が鳴り終わってから（消音にしている場合は約 1.5 秒経過してから）次のコマンドを送信してください。

　但し、インターフェースコマンドの場合、設定完了時「ピッ」と、ビープ音が 1 回鳴ります。
　ビープ音の周波数「消音」のコマンドの場合、設定完了時のビープ音は鳴りません。

4-1 コマンド送信手順

設定コマンドの前後に、設定開始 / 設定終了 コマンドを送信する必要があります。

設定開始 / 設定終了 コマンド	02 46 46 46 46 46 46 03

設定例： ① 設定開始 / 設定終了 コマンド　02 46 46 46 46 46 46 03
② 1 つ目の設定コマンド
2 つ目の設定コマンド
・
・
・
③ 設定開始 / 設定終了 コマンド　02 46 46 46 46 46 46 03
④ スキャナーから「ピッ ピッ ピッ」と、ビープ音が 3 回鳴ります。
（インターフェースコマンドの場合、「ピッ」と、ビープ音が 1 回鳴ります。）
（ビープ音の周波数「消音」のコマンドの場合、設定完了時のビープ音は鳴りません。）

4-2 返送ステータス

※設定開始 / 設定終了 コマンドに対しても、返送ステータスが返ってきます。

以下いずれかの返送ステータスが返ってきます。
送信した設定コマンドにより、返送ステータスのバイト数は変わります。

・正しく設定ができた場合

STX（02h）	送信した設定コマンド	ACK（06ｈ）	ETX（03ｈ）

・正しく設定ができなかった場合

STX（02h）	送信した設定コマンド	NAK（15ｈ）	ETX（03ｈ）

4-3 設定コマンド一覧

4-3-1 基本設定

項目		設定値	コマンド（16 進数）
初期化 インターフェース設定は変更されません。		FFFFFE	02 46 46 46 46 46 45 03
インターフェース	ST-860U　:USB-HID ST-860UC :USB-HID	FFBFFE	02 46 46 42 46 46 45 03
	USB-COM	FFBFFD	02 46 46 42 46 46 44 03
	ST-860R：RS232C	FFBFFF	02 46 46 42 46 46 46 03
スキャンモード	連続モード	7E9AA0	02 37 45 39 41 41 30 03
	物体検知モード	7E9AA8	02 37 45 39 41 41 38 03
同一コード読取り遅延 最大：6350ms 6350/50=127	X に設定値をセット 500ms の場合 X=500/50＝10 (31h 30h)	7EFD6X	02 37 45 46 44 36 X1 X2 03 500ms の場合 02 37 45 46 44 36 31 30 03
照明	有効	B66781	02 42 36 36 37 38 31 03
	無効	B66780	02 42 36 36 37 38 30 03
ビープ音 無効：起動音は鳴りません。	有効	B667D0	02 42 36 36 37 44 30 03
	無効	B667D1	02 42 36 36 37 44 31 03
ビープ音の長さ	通常	7EA7A0	02 37 45 41 37 41 30 03
	短い	7EA7A1	02 37 45 41 37 41 31 03
ビープ音の周波数 消音：起動音は鳴ります。	2.7KHz	7EB9B7	02 37 45 42 39 42 37 03
	1.6KHz	7EB9B6	02 37 45 42 39 42 36 03
	2.0KHz	7EB9B5	02 37 45 42 39 42 35 03
	2.4KHz	7EB9B4	02 37 45 42 39 42 34 03
	3.1KHz	7EB9B3	02 37 45 42 39 42 33 03
	3.5KHz	7EB9B2	02 37 45 42 39 42 32 03
	4.2KHz	7EB9B1	02 37 45 42 39 42 31 03
	消音	7EB9B0	02 37 45 42 39 42 30 03
改行コード	CR（付加する）	7CC791	02 37 43 43 37 39 31 03
	CR（付加しない）	7CC790	02 37 43 43 37 39 30 03
	LF（付加する）	7CC781	02 37 43 43 37 38 31 03
	LF（付加しない）	7CC780	02 37 43 43 37 38 30 03
	TAB（付加する）	7CC761	02 37 43 43 37 36 31 03
	TAB（付加しない）	7CC760	02 37 43 43 37 36 30 03
トリガーモード 読取待機時間 初期値　：X=4（6 秒） 設定範囲：X＝1～200	X に設定値をセット 30 秒の場合 X＝20（32h 30h） ・X＝1（1.5 秒） ・X=0（無制限）	B6AE6X	02 42 36 41 45 36 X1 X2 03 30 秒の場合 02 42 36 41 45 36 32 30 03

項目		設定値	コマンド（16 進数）
ボーレート	1200	7BEA62	02 37 42 45 41 36 32 03
	2400	7BEA63	02 37 42 45 41 36 33 03
	4800	7BEA64	02 37 42 45 41 36 34 03
	9600	7BEA65	02 37 42 45 41 36 35 03
	19200	7BEA67	02 37 42 45 41 36 37 03
	38400	7BEA68	02 37 42 45 41 36 38 03
	57600	7BEA69	02 37 42 45 41 36 39 03
	115200	7BEA610	02 37 42 45 41 36 31 30 03
データビット	7	7C6790	02 37 43 36 37 39 30 03
	8	7C6791	02 37 43 36 37 39 31 03
ストップビット	2	7C67A0	02 37 43 36 37 41 30 03
	1	7C67A1	02 37 43 36 37 41 31 03
パリティ	偶数	7C69B2	02 37 43 36 39 42 32 03
	奇数	7C69B0	02 37 43 36 39 42 30 03
	なし	7C69B4	02 37 43 36 39 42 34 03

4-3-2 コード設定

項目		設定値	コマンド（16 進数）
コードの読取り	全バーコード読取り「有効」	FFFEFD	02 46 46 46 45 46 44 03
	全バーコード読取り「無効」	FFFEFC	02 46 46 46 45 46 43 03
	1 次元コード読取り「有効」	FFFEFB	02 46 46 46 45 46 42 03
	1 次元コード読取り「無効」	FFFEFA	02 46 46 46 45 46 41 03
	2 次元コード読取り「有効」	FFFEF9	02 46 46 46 45 46 39 03
	2 次元コード読取り「無効」	FFFEF8	02 46 46 46 45 46 38 03
UPC-A			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
UPC-A 読取り	有効	6687C1	02 36 36 38 37 43 31 03
	無効	6687C0	02 36 36 38 37 43 30 03
UPC-A チェックデジット	送信する	6DB7D1	02 36 44 42 37 44 31 03
	送信しない	6DB7D0	02 36 44 42 37 44 30 03
UPC-A EAN-13 へ変換	変換しない	6DB7A0	02 36 44 42 37 41 30 03
	変換する	6DB7A1	02 36 44 42 37 41 31 03
UPC-A 「NS」送信	送信する	6DB771	02 36 44 42 37 37 31 03
	送信しない	6DB770	02 36 44 42 37 37 30 03
UPC-E			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
UPC-E 読取り	有効	668761	02 36 36 38 37 36 31 03
	無効	668760	02 36 36 38 37 36 30 03
UPC-E チェックデジット	送信する	6DB7C1	02 36 44 42 37 43 31 03
	送信しない	6DB7C0	02 36 44 42 37 43 30 03
UPC-E UPC-A へ変換	変換しない	6DB7B0	02 36 44 42 37 42 30 03
	変換する	6DB7B1	02 36 44 42 37 42 31 03
UPC-E 「NS」送信	送信する	6DB791	02 36 44 42 37 39 31 03
	送信しない	6DB790	02 36 44 42 37 39 30 03
EAN-13			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
EAN-13 読取り	有効	668771	02 36 36 38 37 37 31 03
	無効	668770	02 36 36 38 37 37 30 03
EAN-13 チェックデジット	送信する	6DF781	02 36 44 46 37 38 31 03
	送信しない	6DF780	02 36 44 46 37 38 30 03
EAN-8			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
EAN-8 読取り	有効	6687A1	02 36 36 38 37 41 31 03
	無効	6687A0	02 36 36 38 37 41 30 03
EAN-8 チェックデジット	送信する	6DF761	02 36 44 46 37 36 31 03
	送信しない	6DF760	02 36 44 46 37 36 30 03
EAN-8 EAN-13 へ変換	変換しない	6DB780	02 36 44 42 37 38 30 03
	変換する	6DB781	02 36 44 42 37 38 31 03

UPC / EAN			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
UPC/EAN アドオン	2 桁出力しない	6787D0	02 36 37 38 37 44 30 03
	2 桁出力する	6787D1	02 36 37 38 37 44 31 03
	5 桁出力しない	6787C0	02 36 37 38 37 43 30 03
	5 桁出力する	6787C1	02 36 37 38 37 43 31 03
UPC/EAN アドオン アドオンがないコードの読取り	読取りしない	678791	02 36 37 38 37 39 31 03
	読取りする	678790	02 36 37 38 37 39 30 03
「読取りしない」に設定する場合は、UPC/EAN アドオンで「○桁出力する」に設定してください。			
UPC / EAN 白黒反転	無効	A87860	02 41 38 37 38 36 30 03
	有効（両方読取り可能）	A87861	02 41 38 37 38 36 31 03

Code39			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
Code39 読取り	有効	667771	02 36 36 37 37 37 31 03
	無効	667770	02 36 36 37 37 37 30 03
Code39 チェックデジット	計算しない	9F6860	02 39 46 36 38 36 30 03
	計算する+送信しない	9F6862	02 39 46 36 38 36 32 03
	計算する+送信する	9F6861	02 39 46 36 38 36 31 03
Code39 スタート/ストップ コード	送信しない	9F6780	02 39 46 36 37 38 30 03
	送信する	9F6781	02 39 46 36 37 38 31 03
Code39 Full ASCII	無効	6687D0	02 36 36 38 37 44 30 03
	有効	6687D1	02 36 36 38 37 44 31 03
Code39 白黒反転	無効	A88880	02 41 38 38 38 38 30 03
	有効（両方読取り可能）	A88881	02 41 38 38 38 38 31 03
Code39 最小読取り桁数を指定する	X に設定値をセット 10 桁の場合 X＝10（31h 30h）	B8CE6X	02 42 38 43 45 36 X1 X2 03 10 桁の場合 02 42 38 43 45 36 31 30 03
Code128 / GS1-128			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
Code128 / GS1-128 読取り	有効	667791	02 36 36 37 37 39 31 03
	無効	667790	02 36 36 37 37 39 30 03
Code128 / GS1-128 白黒反転	無効	A878B0	02 41 38 37 38 42 30 03
	有効（両方読取り可能）	A878B1	02 41 38 37 38 42 31 03
Code128 / GS1-128 最小読取り桁数を指定する	X に設定値をセット 10 桁の場合 X＝10（31h 30h）	B88E6X	02 42 38 38 45 36 X1 X2 03 10 桁の場合 02 42 38 38 45 36 31 32 03
Interleaved 2 of 5（ITF）			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
ITF 読取り	有効	6677B1	02 36 36 37 37 42 31 03
	無効	6677B0	02 36 36 37 37 42 30 03
ITF チェックデジット	計算しない	9EF860	02 39 45 46 38 36 30 03
	計算する+送信しない	9EF861	02 39 45 46 38 36 31 03
	計算する+送信する	9EF862	02 39 45 46 38 36 32 03
ITF 白黒反転	無効	A888A0	02 41 38 38 38 41 30 03
	有効（両方読取り可能）	A888A1	02 41 38 38 38 41 31 03
ITF 最小読取り桁数を指定する。	X に設定値をセット 10 桁の場合 X＝10（31h 30h）	B86E6X	02 42 38 36 45 36 X1 X2 03 10 桁の場合 02 42 38 36 45 36 31 30 03

NW-7			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
NW-7 読取り	有効	6677A1	02 36 36 37 37 41 31 03
	無効	6677A0	02 36 36 37 37 41 30 03
NW-7 チェックデジット 計算方法：モジュラス 16	計算しない	9EF880	02 39 45 46 38 38 30 03
	計算する+送信しない	9EF882	02 39 45 46 38 38 32 03
	計算する+送信する	9EF881	02 39 45 46 38 38 31 03
NW-7 スタート/ストップ コード	送信しない	6DD7D0	02 36 44 44 37 44 30 03
	送信する	6DD7D1	02 36 44 44 37 44 31 03
NW-7 白黒反転	無効	A888C0	02 41 38 38 38 43 30 03
	有効（両方読取り可能）	A888C1	02 41 38 38 38 43 31 03
NW-7 最小読取り桁数を指定する	X に設定値をセット 10 桁の場合 X＝10（31h 30h）	B7EE6X	02 42 37 45 45 36 X1 X2 03 10 桁の場合 02 42 37 45 45 36 31 30 03

GS1 DataBar			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
GS1 DataBar Omnidirectional 読取り	有効	66A791	02 36 36 41 37 39 31 03
	無効	66A790	02 36 36 41 37 39 30 03
GS1 DataBar Limited 読取り	有効	66A7A1	02 36 36 41 37 41 31 03
	無効	66A7A0	02 36 36 41 37 41 30 03
GS1 DataBar Expanded 読取り	有効	66A7B1	02 36 36 41 37 42 31 03
	無効	66A7B0	02 36 36 41 37 42 30 03
合成シンボル CC-C は未対応です。	有効	A66761	02 41 36 36 37 36 31 03
	無効	A66760	02 41 36 36 37 36 30 03
「有効」に設定する場合は、必要な GS1 Databer と、Micro PDF の読取りも「有効」に設定してください。			

QR Code			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
QR Code 読取り	有効	66C781	02 36 36 43 37 38 31 03
	無効	66C780	02 36 36 43 37 38 30 03
QR Code URL データの読取り	有効	A6E760	02 41 36 45 37 36 30 03
	無効	A6E761	02 41 36 45 37 36 31 03
QR Code 白黒反転	無効	66C790	02 36 36 43 37 39 30 03
	有効（両方読取り可能）	66C791	02 36 36 43 37 39 31 03
Micro QR Code			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
Micro QR Code 読取り	有効	66C7B1	02 36 36 43 37 42 31 03
	無効	66C7B0	02 36 36 43 37 42 30 03
Micro QR Code 白黒反転	無効	66C7C0	02 36 36 43 37 43 30 03
	有効（両方読取り可能）	66C7C1	02 36 36 43 37 43 31 03
Data Matrix			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
Data Matrix 読取り	有効	66B791	02 36 36 42 37 39 31 03
	無効	66B790	02 36 36 42 37 39 30 03
Data Matrix 白黒反転	無効	66B780	02 36 36 42 37 38 30 03
	有効（両方読取り可能）	66B883	02 36 36 42 38 38 33 03
PDF417			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
PDF417 読取り	有効	666761	02 36 36 36 37 36 31 03
	無効	666760	02 36 36 36 37 36 30 03
PDF417 白黒反転	無効	A8D860	02 41 38 44 38 36 30 03
	有効（両方読取り可能）	A8D861	02 41 38 44 38 36 31 03
Micro PDF417			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
Micro PDF417 読取り	有効	66A7D1	02 36 36 41 37 44 31 03
	無効	66A7D0	02 36 36 41 37 44 30 03
Micro PDF417 白黒反転	無効	B6D880	02 42 36 44 38 38 30 03
	有効（両方読取り可能）	B6D881	02 42 36 44 38 38 31 03
QR Code / Micro QR Code / Data Matrix / PDF417 / Micro PDF417			
項目		設定値	コマンド（16 進数）
最小読取り桁数 設定範囲：X＝1～255	X に設定値をセット 5 桁の場合 X=5（35 h）	67EE6X	02 36 37 45 45 36 X1 03 5 桁の場合 02 36 37 45 45 36 35 03
固定読取り桁数 設定範囲：X＝0～255 初期値 0：固定しない	X に設定値をセット 10 桁の場合 X＝10（31h 30h）	67FE6X	02 36 37 46 45 36 X1 X2 03 10 桁の場合 02 36 37 46 45 36 31 30 03

4-3-3 フォーマット設定

項目		設定値	コマンド（16 進数）
コード ID を先頭に付加	無効	A8E7A0	02 41 38 45 37 41 30 03
	有効	A8E7A1	02 41 38 45 37 41 31 03

・先頭/末尾に文字を付加する

※2 バイト文字、3 バイト文字は未対応です。
　〖付加文字一覧〗をご確認ください。
※先頭 10 文字まで、末尾 10 文字まで付加することができます。

設定例： A を先頭 1 桁目に付加する場合
　【設定値】
　　設定値の X1 X2 X3：10 進で指定します。
　　A = 065
　　X1 = 0
　　X2 = 6
　　X3 = 5
　　設定値＝69BE6065
　【コマンド（16 進数）】
　　10 進の「0」と「6」と「5」を 16 進に変換します。
　　0 = 30h　6 = 36h　5 = 35h
　　Y1 = 30
　　Y2 = 36
　　Y3 = 35
　　コマンド（16 進）＝02 36 39 42 45 36 30 36 35 03

項目		設定値	コマンド（16 進数）
先頭	1 桁目	69BE6 X1 X2 X3	02 36 39 42 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	2 桁目	69CE6 X1 X2 X3	02 36 39 43 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	3 桁目	69DE6 X1 X2 X3	02 36 39 44 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	4 桁目	69EE6 X1 X2 X3	02 36 39 45 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	5 桁目	69FE6 X1 X2 X3	02 36 39 46 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	6 桁目	6A6E6 X1 X2 X3	02 36 41 36 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	7 桁目	6A7E6 X1 X2 X3	02 36 41 37 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	8 桁目	6A8E6 X1 X2 X3	02 36 41 38 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	9 桁目	6A9E6 X1 X2 X3	02 36 41 39 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	10 桁目	6AAE6 X1 X2 X3	02 36 41 41 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	付加取消	FFFFEB	02 46 46 46 46 45 42 03

項目		設定値	コマンド（16 進数）
末尾	1 桁目	6ABE6 X1 X2 X3	02 36 41 42 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	2 桁目	6ACE6 X1 X2 X3	02 36 41 43 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	3 桁目	6ADE6 X1 X2 X3	02 36 41 44 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	4 桁目	6AEE6 X1 X2 X3	02 36 41 45 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	5 桁目	6AFE6 X1 X2 X3	02 36 41 46 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	6 桁目	6B6E6 X1 X2 X3	02 36 42 36 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	7 桁目	6B7E6 X1 X2 X3	02 36 42 37 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	8 桁目	6B8E6 X1 X2 X3	02 36 42 38 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	9 桁目	6B9E6 X1 X2 X3	02 36 42 39 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	10 桁目	6BAE6 X1 X2 X3	02 36 42 41 45 36 Y1 Y2 Y3 03
	付加取消	FFFFEA	02 46 46 46 46 45 41 03

・先頭/末尾から指定桁数を削除する

※2 バイト文字、3 バイト文字は未対応です。
※以下表には 1～9 桁と、削除取消を記載しております。

設定例： 10 桁を削除する場合
【設定値】
先頭：「B68E6 X1 X2」
末尾：「B6BE6 X1 X2」
X1 = 1
X2 = 0
先頭 10 桁削除　設定値＝B68E610
末尾 10 桁削除　設定値＝B6BE610
【コマンド（16 進数）】
10 進の「1」と「0」を 16 進に変換します。
1 = 31h　0 = 30h
先頭 10 桁削除　コマンド（16 進）＝02 42 36 38 45 36 31 30 03
末尾 10 桁削除　コマンド（16 進）＝02 42 36 42 45 36 31 30 03

項目		設定値	コマンド（16 進数）
先頭	1 桁	B68E61	02 42 36 38 45 36 31 03
	2 桁	B68E62	02 42 36 38 45 36 32 03
	3 桁	B68E63	02 42 36 38 45 36 33 03
	4 桁	B68E64	02 42 36 38 45 36 34 03
	5 桁	B68E65	02 42 36 38 45 36 35 03
	6 桁	B68E66	02 42 36 38 45 36 36 03
	7 桁	B68E67	02 42 36 38 45 36 37 03
	8 桁	B68E68	02 42 36 38 45 36 38 03
	9 桁	B68E69	02 42 36 38 45 36 39 03
	削除取消	B68E60	02 42 36 38 45 36 30 03

項目		設定値	コマンド（16 進数）
末尾	1 桁	B6BE61	02 42 36 42 45 36 31 03
	2 桁	B6BE62	02 42 36 42 45 36 32 03
	3 桁	B6BE63	02 42 36 42 45 36 33 03
	4 桁	B6BE64	02 42 36 42 45 36 34 03
	5 桁	B6BE65	02 42 36 42 45 36 35 03
	6 桁	B6BE66	02 42 36 42 45 36 36 03
	7 桁	B6BE67	02 42 36 42 45 36 37 03
	8 桁	B6BE68	02 42 36 42 45 36 38 03
	9 桁	B6BE69	02 42 36 42 45 36 39 03
	削除取消	B6BE60	02 42 36 42 45 36 30 03

5.トリガーモード（読取開始/読取終了）コマンド

※インターフェース USB-COM、RS232C の機能です。
　ST-860U/ST-860UC は、〖1-3 インターフェース〗で、「USB-COM」の設定にしてからご使用ください。

※〖1-9 照明〗は、「有効」に設定してからご使用ください。（初期値は「有効」になっています。）

※読取開始 / 読取終了 コマンドは、〖4-1 コマンド送信手順〗のように、コマンド前後に 設定開始 / 設定終了コマンドの送信は不要です。単体で送信します。

※スキャナーが読取待機中に、読取開始コマンドを送信すると、スキャナーから「プー」と、ビープ音が鳴ります。
　コードデータが返ってきてから、次のコマンドを送信してください。

※読取開始コマンドを送信した後、読取終了コマンドを送信する際は、約 0.5 秒の間隔を空けてください。

※スキャナーを再起動（例：USB ケーブル抜き差し）しない限り、トリガーモードで動作します。

※読取開始 / 読取終了 コマンドは、フラッシュメモリへの書き込みは行いません。

※読取待機時間は、「トリガーモード読取待機時間」コマンドで設定できます。
　コマンドは〖4-3-1 基本設定〗をご確認ください。

項目	コマンド（16 進数）
読取開始 コマンド	16 54 0d
読取終了 コマンド	16 55 0d

・Full ASCII テーブル（制御コード）

※〖2-7 Code39〗の Code39 Full ASCII の設定を「有効」にしてください。

NUL %U	SOH $A	STX $B
ETX $C	EOT $D	ENQ $E
ACK $F	BEL $G	BS $H
HT $I	LF $J	VT $K
FF $L	CR $M	SO $N
SI $O	DLE $P	DC1 $Q
DC2 $R	DC3 $S	DC4 $T
NAK $U	SYN $V	ETB $W
CAN $X	EM $Y	SUB $Z
ESC %A	FS %B	GS %C
RS %D	US %E	Space

・Full ASCII テーブル（記号）

※〖2-7 Code39〗の Code39 Full ASCII の設定を「有効」にしてください。

! /A	" /B	# /C
$ /D	% /E	& /F
' /G	(/H	) /I
* /J	+ /K	, /L
- −	. .	/ /O
: /Z	; %F	< %G
= %H	> %I	? %J
@ %V	[%K	¥ %L
] %M	^ %N	_ %O
` %W	{ %P	| %Q
} %R	~ %S	DEL %T

・Full ASCII テーブル（アルファベット　大文字）

※〖2-7 Code39〗の Code39 Full ASCII の設定を「有効」にしてください。

A A	B B	C C
D D	E E	F F
G G	H H	I I
J J	K K	L L
M M	N N	O O
P P	Q Q	R R
S S	T T	U U
V V	W W	X X
Y Y	Z Z	

・Full ASCII テーブル（アルファベット　小文字）

※〖2-7 Code39〗の Code39 Full ASCII の設定を「有効」にしてください。

a +A	b +B	c +C
d +D	e +E	f +F
g +G	h +H	i +I
j +J	k +K	l +L
m +M	n +N	o +O
p +P	q +Q	r +R
s +S	t +T	u +U
v +V	w +W	x +X
y +Y	z +Z	

・Full ASCII テーブル（数字）

※〖2-7 Code39〗の Code39 Full ASCII の設定を「有効」にしてください。

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9		

・付加文字一覧

10進	16進	文字	10進	16進	文字	10進	16進	文字	10進	16進	文字
000	00	NUL	032	20	SP	064	40	@	096	60	‘
001	01	SOH	033	21	!	065	41	A	097	61	a
002	02	STX	034	22	"	066	42	B	098	62	b
003	03	ETX	035	23	#	067	43	C	099	63	c
004	04	EOT	036	24	$	068	44	D	100	64	d
005	05	ENQ	037	25	%	069	45	E	101	65	e
006	06	ACK	038	26	&	070	46	F	102	66	f
007	07	BEL	039	27	`	071	47	G	103	67	g
008	08	BS	040	28	(	072	48	H	104	68	h
009	09	HT	041	29	)	073	49	I	105	69	i
010	0A	LF	042	2A	*	074	4A	J	106	6A	j
011	0B	VT	043	2B	+	075	4B	K	107	6B	k
012	0C	FF	044	2C	,	076	4C	L	108	6C	l
013	0D	CR	045	2D	–	077	4D	M	109	6D	m
014	0E	SOH	046	2E	.	078	4E	N	110	6E	n
015	0F	SI	047	2F	/	079	4F	O	111	6F	o
016	10	DLE	048	30	0	080	50	P	112	70	p
017	11	DC1	049	31	1	081	51	Q	113	71	q
018	12	DC2	050	32	2	082	52	R	114	72	r
019	13	DC3	051	33	3	083	53	S	115	73	s
020	14	DC4	052	34	4	084	54	T	116	74	t
021	15	NAK	053	35	5	085	55	U	117	75	u
022	16	SYN	054	36	6	086	56	V	118	76	v
023	17	ETB	055	37	7	087	57	W	119	77	w
024	18	CAN	056	38	8	088	58	X	120	78	x
025	19	EM	057	39	9	089	59	Y	121	79	y
026	1A	SUB	058	3A	:	090	5A	Z	122	7A	z
027	1B	ESC	059	3B	;	091	5B	[	123	7B	{
028	1C	FS	060	3C	<	092	5C	¥	124	7C	|
029	1D	GS	061	3D	=	093	5D	]	125	7D	}
030	1E	RS	062	3E	>	094	5E	^	126	7E	~
031	1F	US	063	3F	?	095	5F	_	127	7F	DEL